

～アシュケナーズ絶賛の貴族的でしなやかな音色～

アンドレ・シプコー

Piano Recital



2016.3.25(金) 19:00開演

カワイコンサートサロン「ブルー」
(名古屋市中区錦3-15-15)

全席自由 2,500円

Program

モーツァルト / ピアノソナタ ハ長調 K.330
ラフマニノフ / エレジーOp.3-1
4つの前奏曲
リスト / ハンガリー狂詩曲 第12番
他

「アンドレ・シプコー クラスコンサート ～未来に羽ばたくピアニストたち～」

2016.3.25(金) 17:30開演(17:10開場) カワイコンサートサロン「ブルー」

♪アンドレ・シプコー リサイタルチケットにてお聴きいただけます。

主催：To joy

企画：加島華奈子

チケットお問い合わせ 090-1472-9025 (伊井)



アンドレ・シプコー Andrey Shibko

【ピアニスト ロシア国立モスクワ音楽院 准教授】



1975年、ミンスクに生まれる。チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院に進み、ロシアン・ピアノリズムの名匠ゲンリヒ・ネイガウス最後の直弟子として知られる名指導者ヴァレーリー・カステルスキー教授に師事。優秀な成績で同大学院を修了するまで、同教授のもとで研鑽を積む。

在学中から各国の国際コンクールに挑み、「ウラジーミル・コンクール」第1位、「ディアンジェロ国際コンクール」第1位、「ポルトー国際コンクール」第1位およびベートーヴェン賞、ドビュッシー賞受賞と、立て続けに第1位に輝き注目を集める。

ロシアのみならずアメリカ、日本、ヨーロッパを中心に、世界各国で精力的に活動しており、モスクワ音楽院大ホール(ロシア)、クイーン・エリザベス・ホール(イギリス)、サントリーホール(日本)、トンハーレホール(チューリッヒ)などで開催したりタイトルはいずれも大好評を博す。

そのほか世界各国の音楽祭に招待されている。日本の「観音寺国際音楽フェスティバル」にも第1回目より参加。「ヴァンタートゥール交響楽団(アシュケナージュ指揮)」「ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団」「ポルトー国立交響楽団」他、世界中の著名オーケストラとの共演歴も多数。ソリストとしてだけではなく室内楽においても著名な演奏家と共演を果たすなど世界中で活躍している。

演奏活動と並行し後進の指導にも積極的に取り組み、モスクワ音楽院で現在は准教授を務める。ロシア内外で多くのマスタークラスを開催。門下生からは国際コンクール受賞者を輩出している。

♪巨匠アシュケナージ(ピアニスト・指揮者)の言葉♪

アンドレ・シプコーの顕著な特徴は、上品で慎み深く、静かで確実に奏でる、その情に訴えるようなバランス感にあります。

体を使った派手なパフォーマンスは避け、調和のとれた展開への深みと浸透するような、そしてどんな表面上の荒々しさをもなだめるような演奏であります。そのことが、シプコーの演奏が情熱的でないことを示しているわけではありません。即ち自分の知識を整理するために俗的な誘惑を排除し、貴族的上品さを持ち合わせ、高い水準の文化人のように用心深く自分の音を意識しながら質の高い音楽へ向かうという直接的でない音の熱さに我々は気づくべきなのです。

最近、多くの若いピアニストたちがピアノに対する生まれつきの才能の少なさを披露している中で、シプコーのように天性の才能の持ち主の到来は、特に温かい喝采を受けることが正当であるといえるでしょう。

ウラディーミル・アシュケナージ

